



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
9月20日
火曜日
第177号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

高校生・大学生の留学促進イベントに 参加してみませんか!?

「ふじのくに海外留学応援フェア」開催!参加者募集!

県内の高校生・大学生などを対象とした留学促進イベント「ふじのくに海外留学応援フェア」を以下の内容で開催します。今年、メディアで話題の“魂の社会起業家”鬼丸昌也氏の講演や、充実した相談ブースを用意します。

■開催日 平成28年10月16日(日)
13:00~16:30

■開講場所 静岡商工会議所会館
4階・5階
(静岡市葵区黒金町20-8)

■募集人数 120人程度

■内容

(1) 講演会

演題 「こうして僕は世界を変える
ために一歩を踏み出した」
NPO法人テラ・ルネッサンス
創設者 鬼丸 昌也 氏

(2) 留学・進学説明会

〈参加国・地域・機関等〉
アメリカ、オーストラリア、フィリピン、カナダ、スペイン、台湾、
文部科学省(トビタテ!留学JAPAN)、日本学生支援機構 等

(3) 高校生・大学生の海外留学経験者との交流

■申込締切 平成28年10月3日(月)(高校生は在籍校を通して、お申し込みください)

■参加費用 無料

問 高校教育課指導班 ☎054(221)3147



NPO法人テラ・ルネッサンス創設者 鬼丸 昌也 氏

〈プロフィール〉高校在学中にスリランカでサルボダヤ運動(NGO)創始者アリヤラト博士と出会い、「全ての人に未来をつくりだす能力がある」と教えられる。2001年、初めてカンボジアを訪れ、地雷被害の現状を知り、「すべての活動はまず『伝える』ことから」と応援活動を始める。同年10月、大学在学中に「すべての生命が安心して生活できる社会の実現」をめざす「テラ・ルネッサンス」設立。2002年、(社)日本青年会議所人間力大賞受賞。地雷、子ども兵や平和問題を伝える講演活動を、学校、企業、行政などで年100回以上行っている。



天野浩教授の「ノーベル賞記念碑」

【高校教育課】

今後、同校では、ノーベル物理学賞を受賞した天野浩名古屋大学教授をはじめ、卒業生が培ってきた伝統を守りながら、中高一貫教育の利点を生かしていきまます。そして、これからも、時代を先取りした取り組みを積極的に進め、頼れるリーダーとして国際社会、地域社会で活躍できる人材を育てていきたいと考えています。

中高一貫教育のさらなる 飛躍を目指して

県立浜松西高等学校・同中等部

浜西の中高一貫教育

同校は、併設型中高一貫教育を開始して今年で15年目を迎えました。中等部4クラス、高校6クラス(高校から入学する生徒(以下「高入生」)が加わる)で構成されており、中等部には、浜松市を中心に県西部地区から志願倍率約3倍の入試を突破した、学ぶ意欲や探究心の高い生徒が集まり、密度の高い活動が行われています。高校では、高校

生徒の能力を引き出す「西山台ドリムプラン」

同校では現在、生徒個々の能力を引き出し、飛躍させるための教育システム「西山台ドリムプラン2015-2017」を展開しており、生徒が

入試を勝ち抜いた高入生が加わり、中等部から入学した生徒と互いに高め合う中で充実した教育が行われています。

大型テレビやプロジェクト、iPadをいち早く導入し、効果的な教材提示や教員と生徒が対話する双方向型の授業を展開しています。さらに、これらを活用して、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業研究を積極的に進めています。学生が高校生の指導を受

②中高一貫教育だからこぞできる「先輩チユートリアル」

進路の内定した高校3年生が中学3年生の学習指導に当たる取組を、「先輩チユートリアル」と題して実施しています。学習に関して悩みを持つ中



挑戦する心を喚起するスローガン

③「西山台チャレンジサポート」

生徒が学校内部にとどまらず、長期休暇を利用して海外研修、リーダー養成研修、理科系研修等、外部主催の企画にも果敢にチャレンジできるプログラムです。このプログラムにより、多くの生徒が、その資質を大きく花開かせています。

自ら意欲的に学び、考え、行動することで、進路(夢)の実現を目指しています。このプランの下、主に次のような取組を行っています。

けることで、学習に対する姿勢が向上する一方、高校生も教えることの難しさを学ぶことで、大きく成長するなど、効果を上げています。

障害者差別解消法の 理解に向けて

対して、視覚と聴覚に訴える工夫をしたり、弱視の子どもに対して、座席の位置や教具の工夫をしたりといった実践が紹介されました。

本年度も各学校で人権教育推進の役割を担う教職員を対象とした人権教育の研修会(静岡県)



研究協議で話し合う参加者

本年度も各学校で人権教育推進の役割を担う教職員を対象とした人権教育の研修会(静岡県)が6月23日、高校・特支高等部・23日、高校・特支高等部・6月29日、静岡教育事務所管内小中・特支小中学校(7月6日)を開催しました。丸1日の研修で、午前中に講演、午後には研究協議を実施しました。

存在が尊重されるという意識を高めていくことが大切であると訴えました。午後の研究協議では、法で求められている「合理的配慮の提供」と「不当な差別的取扱いの禁止」について、どのようなことが学校現場で実践されているのか、また、今後どのようなことが予想されるのかをグループで話し合いました。

このグループ別研究協議で出された各校の実践等は、県教育委員会教育政策課人権教育推進室のホームページに掲載する予定です。また、本研修で使用した資料をホームページに掲載しましたので、各校での伝達研修にご活用ください。【教育政策課】

法律を自分事としてとらえる

午前中は、毎日新聞論説委員の野澤和弘氏から、障害のある家族を持つ当事者としての経験談を交えた講演がありました。野澤氏は、誰もが住みやすい社会を作るためには、障害を抱える本人はもちろん、周りで支える家族に

「合理的配慮の提供」については、多くの学校で実践されていることを確認しました。例えば、発達障害の子どもに

3 「不当な差別的取扱いの禁止」について

マニュアルP5~7を読みながら、空欄に入る言葉を確認してみましょう。
(1) 不当な差別的取扱いとは、障害者に対して、「正当な理由」なく、障害を理由として、財・サービスや各種機会の提供を「拒否する」こと、又は、提供するに場所や時間帯などを「制限する」こと、障害者でない人に対しては付けない条件を付けることなどにより、障害者の権利利益を侵害することをいいます。

「合理的配慮の提供」について
マニュアルP8~15を読みながら、空欄に入る言葉を確認してみましょう。
(1) 合理的配慮の提供とは、障害者から「社会的障壁を取り除いてほしい」という趣旨の「意思の表明」があった場合、それを行う「負担が過重」でなければ、障害者の権利利益を侵害することにならないよう、社会的障壁を取り除くための必要かつ合理的な配慮を行うことをいいます。

伝達研修用資料より 資料を使って障害者差別解消法について理解を深める

安心・信頼される 保健室経営

実践NOTE 353
保健室からの発信を通じた実践
御殿場市立御殿場中学校 養護教諭 江口 由美



筆者

「学校だよりや学年だよりは読むけど、保健室だよりはあまり読まない」という声を聞いたことがあります。なぜ読まないのか…。興味を引くものがないから？…。ということ、少しでも生徒や保護者に「保健室だより」を読んでもらえるよう実践してきたことを紹介します。

『ある日の保健室』(コラム)の連載

保健室では毎日ドラマがあります。保健室だよりの連載『ある日の保健室』では、生徒との関わりの中でのエピソードや「これは問題」と思われるこ



保健だより

ある日の放課後、たまたま保健室に立ち寄った女子生徒が、「最近、水ばかり食べたくなるんです。これって変ですか？」と聞いてきました。時々頭痛もするというので、水食症や貧血が疑われたため病院受診を勧めました。その結果、重度の貧血だったことが分かり、治療を受けることになりました。保護者からは、「何気ない会話から受診を勧めてくれてありがとうございます。ありがとうございました」という手紙をいただきました。

松嶺祭・保健委員会展示

今年、「ピアスの害」「輸入レモンの防カビ剤」「合成着色料をとりだそう」の展示発表をおこないました。ご覧になってくださいましたか？



グミやゼリーを刻んでいます。



水と食酢を加えピーカーを加熱しています。



「ピアスの害」の掲示物を作成中。

保健委員会の活動を紹介

これからも保健室からの発信を通して、心と心をつないでいきたいと思っています。

高校入試後の特別時間割の時期に、3年生に性教育の授業を実施しました。授業を通して、生徒たちに自分の成長過程や人とのつながりの大切さを考えてもらいたいと思い、受けてもらいたいと思いつくから15年間の成長段階や人を守る大切さなどを伝えるビデオメッセージを作成し、見てもらいました。保護者には「15歳の思い」を伝えたくて、生徒の感想を保健室だよりで紹介しました。家では何も話さない」という思春期の子どもを持つ親にとって、学校でのありのままの生徒の様子を知ることが、安心感につながり、そのことにより、学校に対する信頼感も高まるのだと思います。

ある日の保健室

◇「頭痛」という生徒が、担任の先生に付き添われてやってきました。「あと、水を食べたくなっちゃうんですけどよ」と、担任の先生。「頭痛と貧血はすごく関係あるし、水を無性に食べたくなってしまうのも、「水食症」といって、貧血と関係あるかもしれないので、一度病院へ行って血液検査してもらった方がいいと思いますよ。」

数日後・・・

「先生、病院へ行ってきました。検査したら「貧血」がわかって、薬を飲むことになりました。行ってよかったです。ありがとうございます。」うれしい報告です。少し顔色がよくなったように見えました。安心しました。お医者さんには、「この状態でよく持久走をやっていたね。」と言われたそうです。「かくれ貧血」に注意です。◇体調不良を訴えて来た生徒。熱はありません。脈拍も問題なし。ただ表情が曇っています。「どうしたの？ 昨日はよく眠れた？」

「いいえ・・・最近ストレスがたまっちゃって・・・」

「そうだったんだ。どんなストレスがあったの？」

いろいろ話を聞いて、人間関係で悩んでいることがわかりました。すぐに解決はできないけれど、自分なりに気持ちの整理をして、授業にもどって行きました。笑顔もどるといいなあと思っています。この生徒に限らず人間関係で悩むことはよくあります。自分1人で悩まず、信頼できる人に相談してみましょう。

最近で、トゲがささった生徒が来るかと苦勞します。(焦点があわなくて。)でも、「心にささったトゲ」は抜いてあげられるかもしれません。

連載『ある日の保健室』

てきました。が、意外にも、教職員から「保健委員会の髪染め剤の実験結果を見て、こわくなったよ。あれ以来、髪の毛を染めるのをやめたよ」という声も聞かれました。



教員の代わりに生徒が実習を指導する

「生徒指導者制」の実習

浜松城北工業高校の電子科では、10年前から、教員の代わりに生徒が実習を指導する「生徒指導者制」を行っています。

生徒が「生徒指導者制」で得られた経験を生かすことができるように、実習以外の授業でも、生徒が教壇に立って、授業内容の復習、教科書の例題や課題の解説を発表する機会を与えています。

復習を担当させる場合は、前回の授業で学習した内容について、生徒自身に板書計画や説明方法を事前に考えるよう指導し、発

生徒が教壇で教える授業

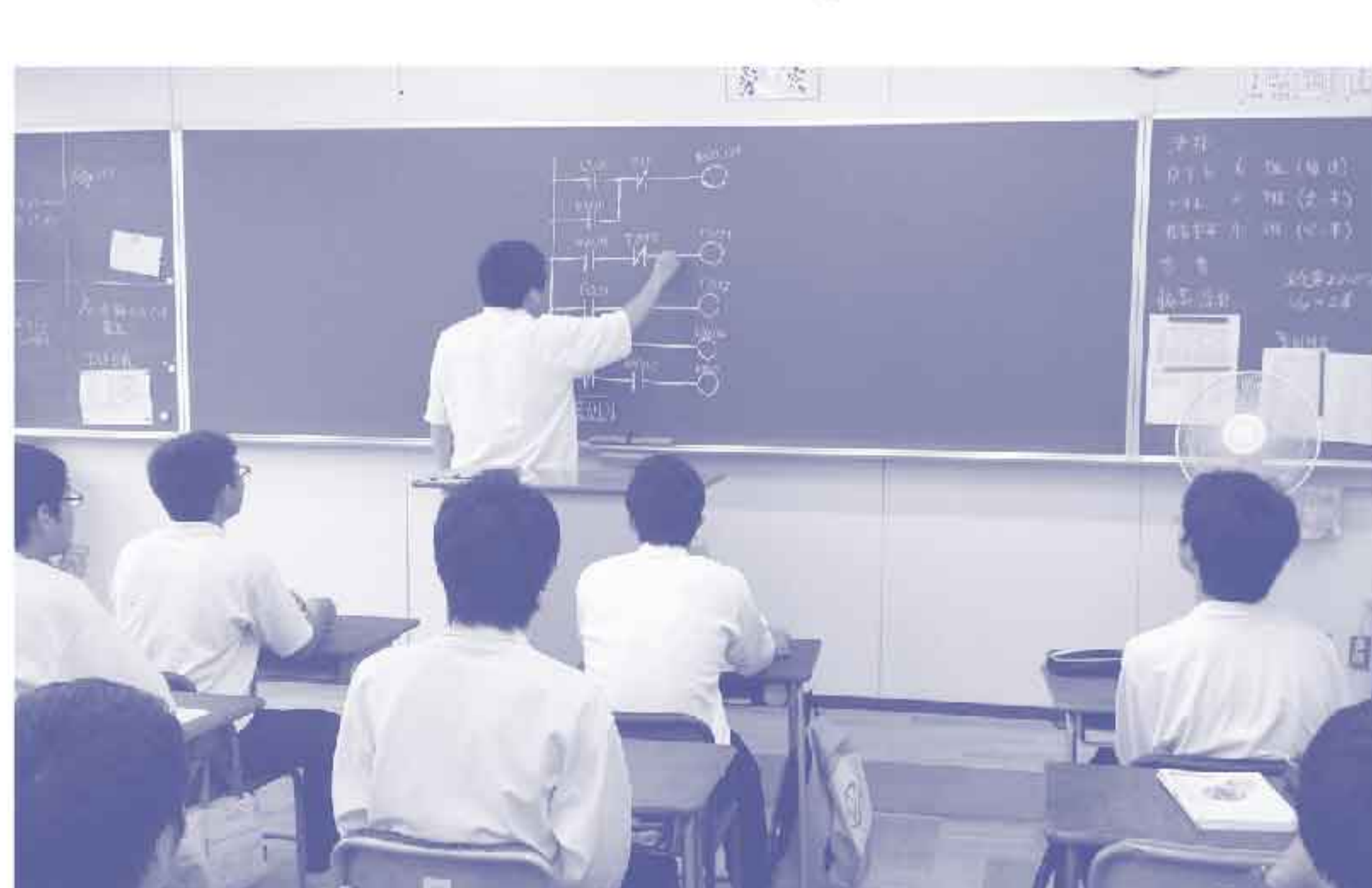
実践NOTE 354
浜松城北工業高等学校 教諭 守屋 貴広

表に臨ませています。発表後はすぐに、教員とその場で行うようにし、目標が必ず達成できるように常に注意しています。

でも、実際に実習を進めていくと、不十分な実習指導になる場合もあります。そのため、必要に応じて、教員が補足説明をその場で行うようにし、目標が必ず達成できるように常に注意しています。

説明の分かりやすさや声の大きさなどの評価を受けることは、その後の就職や進学の面接でも役に立ち、生徒の成長が期待できます。

また、高校生の視点で考えた板書や説明は、私自身にとって新鮮な発見も多く、今後の指導の参考になることもあり、教員と生徒の双方にとって、実りの多い授業となっています。



生徒自身が板書計画や説明方法を考える

成果について

これらの取り組みによって得られる学習効果としては、教員の説明などを聴く従来の受動的な活動を聴くだけの場合と比べて、生徒自身が他の生徒に指導する能動的な活動を授業に加えることで、学習内容に対する考察や理解がより深められるという点があります。

生徒の意欲や学習成果も以前に比べて高くなっ

ており、確実な効果を感じています。生徒が将来どのような職業に就いても、共通して求められるものとして、コミュニケーション能力が挙げられます。工業高校では、普通高校に比べて、進学よりも就職する生徒の割合が高いため、在学中にこれらの能力を身に付けておくことが重要となります。

「生徒指導者制」では、実習内容を他の生徒に教えることで、生徒自身が情報の精査や取捨選択を行うことが必須となります。そしてその情報を相手にいかに分かりやすく伝えるかを考え、実践しなければなりません。この過程が、プレゼンテーション能力の向上につながっています。

また、教壇に立って発表させる際は、聞き手側の生徒が質疑をする時間を設けているので、生徒同士のやりとりが発生します。教壇に立った生徒は、質疑をする生徒の理解度に応じて、その都度説明方法を考える必要があるため、質問者の状況を踏まえたコミュニケーション能力を鍛えることができます。

このように、自分で考え、自分の言葉で説明する経験を重ねることで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を、効果的に向上させる一助となっています。

「育児等に係る休暇制度に関する資料」は、SDONESパソコン「教委事務局要綱・要領データベース」に掲載されていますのでぜひ活用ください。

【教育総務課】

職場全体ですすめよう！
男性の育児参加

未来を担う子どもたちを健やかに生み育てていくためには、男女で子育てを担い、仕事と家庭の調和を図っていくことが大切です。また、女性活躍推進のためにも、積極的に男性が育児を分担することが極めて重要です。

平成28年4月に策定した「静岡県教育委員会ワーク・ライフ・バランス推進計画」では、男性の育児参加休暇等の取得率100%を目標として掲げています。例えば、「配偶者出産休暇」は、出産の立ち会い、入院の付き添いなどの際に取得できる休暇です。また、「育児参加休暇」は生まれたばかりの子どもやその兄弟の世話をするための休暇です。出産後の女性の心身回復のサポートはとても大切なことです。

管理職員は、育児休業、配偶者出産休暇、育児参加休暇などの制度を周知し、取得を呼び掛けるなど、職場全体で男性が育児参加しやすい環境づくりに向けて取り組んでいきます。

健康診断の受診はお済みでしょうか。忘れずに受診に行きましょう。健康診断は受診後が大切です。要精密・要医療等の判定が出た場合は速やかに、医療機関を受診しましょう。【福利課】

青年海外協力隊に参加して

Vol.2

今回は、モンゴルに派遣された職員の体験談を紹介いたします。

自分を見つめ直した 第2の故郷モンゴル

富士市立若松小学校

教諭 大石 陽介



筆者と子どもたち

私に求められたこと

私は、平成26年度からの約2年間青年海外協力隊に参加し、モンゴルで活動しました。配属先は、首都ウランバートルの北に位置するダルハンオール県オド統合学校です。私には、現地の先生方と共に、学校を「教師の教え込み教育」から「子ども主体の教育」へ転換する役割が求められました。

言葉の壁を乗り越えるために

1年目は言葉の壁が大きく立ちました。先生方と積極的に会話したり、授業のサポートに入ったりして、少しずつ言葉を習得していきました。同時に、頼まれたこととはどんなことでも引き受け、徐々に周囲の人たちとの信頼関係も築いて

いくことができました。

大きな変化

2年目の新学期に学校長と小学部主事から、「新しいカリキュラムが施行されたが、特別活動は何をしてよいか分からない」と相談がありました。これまで自分が実践してきた学級経営や学級活動について伝えたいと思っていた私にとっては好機到来です。そこで、小学部の先生50人を前にセミナー「子ども主体の学級経営」子どもたちの話し合いによる学級目標の設定」を開きました。参加した先生方からは、「イメージができた」「すぐに始められる」といった前向きな声が聞かれました。



話し合いをする子どもたち

毎日が忙し

次の日から、子どもたちと同じ目線で向き合っている先生方の姿や自分たちのクラスをどのよう

モンゴルでの活動を 通して

今回の活動を通して、子ども主体の教育へ転換したモンゴルの先生方の実践力に圧倒されたのと同時に、色々な視点から子どもたちや授業作りに



先生方に学級経営や学級活動についてのセミナーを開く

帰国した今の気持ちを大切に、モンゴルの先生方に負けないように子ども主体の学級経営や授業を実践していきます。

環境に働き掛けて 子どもを支援する スクール ソーシャルワーカー

県教育委員会では年々増加傾向にある不登校や粗暴行為等の問題行動に対応するために、本年度から政令市を除く全市町にスクールソーシャルワーカー（以下SSW）を配置しました。

スクールソーシャルワーカーって何？

よくスクールカウンセラー（以下SC）との違いについて質問を受けま

小学校段階で効果を発揮

ネグレクトなど家庭環境に起因する問題は、なかなか学校だけでは解決することができません。

効果を上げるために

SSWを効果的に活用する上で欠かせないのが、「アセスメントシート」を活用したケース会議の実施です。

子どもに関する情報をアセスメントシートに記入し、情報を整理していきます。そして、ケース会議において、問題を抱える子どもとその環境を評価し、どのように支援していくか参加者全員で考えていきます。さらに本県ではSSWを効果的に活用するために、「スクールソーシャルワーカー効果的活用のためのQ&A」静岡県スクールソーシャルワーカー初動ステップ」を作成し、各市町教育委員会へ配布しています。

第24回 静岡県図書館大会 参加者募集!

読書や図書館に関心を持っている人たちが集い、研修・交流する図書館大会。午前のライブトーク「図書館の意義、本の意義とは?～災害時の図書館をきっかけに～」では、「図書館や本がなぜ必要なのか」という本質的な問いについて、皆さんと考えます。午後には「図書館サービス」「幼児・児童に対するサービス」「子どもの読書活動」「図書館とユニバーサルデザイン」「学校図書館」「大学図書館」の6つの分科会に分かれて学びます。第3分科会「子どもの読書活動」では、「読む力が未来をひらく～子どもに本を手渡すために大人ができること～」と題して、子どもたちが読書の本当の喜びを感じるために、子どもと本に関わる大人ができることについて協明子氏(ノートルダム清心女子大学名誉教授)からお話を伺います。参加費無料、どなたでも参加できます。皆様のご参加お待ちしております。

教育という職のすばらしさ 生きる力を育てる 給食指導を通して

中央特別支援学校 教諭 原口りさ



筆者

自分の頬に手のひらで触れるサインを知っていますか?手話やマカトンサイン(言語やコミュニケーション)に問題がある子どものために作られたユニバーサルデザイン方法のうち、手話のような動作

さすれば、早めに手立てを講じることができ、県教育委員会では、平成20年度より、2～3年おきに配置市町を替えながらSSWを計画的に配置し、事業の浸透、拡大を進めてきました。これまでの事例を見ると中学校段階より、小学校段階で、効果を発揮しています。特に低学年の段階で、家庭の問題を把握し、早期に対応することが、問題の深刻化を防ぐという意味でも重要です。

子どもに関する情報をアセスメントシートに記入し、情報を整理していきます。そして、ケース会議において、問題を抱える子どもとその環境を評価し、どのように支援していくか参加者全員で考えていきます。さらに本県ではSSWを効果的に活用するために、「スクールソーシャルワーカー効果的活用のためのQ&A」静岡県スクールソーシャルワーカー初動ステップ」を作成し、各市町教育委員会へ配布しています。

付けるため、児童生徒の摂食機能に合わせて食べ物

また、形態食を導入したことで教員や保護者から「食べやすくなった」といった意見ももらいました。今後は形態食をより効果的に活用し、子どもたちの生活において大切な食べる力を、支えていける教員でありたいと思っています。

食べる力

本校は肢体不自由教育を行う特別支援学校です。「食べる」という行為を、私たち小さい頃から自然に身に付け、特に意識することなく行っている

最近、通常学級の子どもの中にも、よくかめていない子、食具の操作が難しい子がいるという話を聞きます。私は子どもたちの生活において大切な食べる力を、支えていける教員でありたいと思っています。

給食指導という

給食指導という、マナーや栄養バランスなどが思い浮かぶと思いますが、本校では摂食指導が大きく関わっています。

私は給食課での取り組みを通じて、食べるという視点で子どもたちを見ることができました。今後も、目の前の子どもたちの笑顔と成長につながるよう、自分自身の目標やテーマを持って学び続けていきたいと思っています。



「アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメント」の活用を Part5

資質・能力を引き出し、高める授業設計

総合教育センターで行っている特別支援学校の定期訪問では、リーフレット「アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメント」を活用した研修を実施しています。子どもの資質・能力を引き出す授業設計・診断の4項目を基に実践を振り返り、授業改善を図っています。

今回は、7月に実施した知的障害特別支援学校小学部の生活単元学習の様子を紹介しました。子どもが、やりたい!と思う課題設定

4年生では、夏野菜のカレーパーティーを計画しました。春から校内の畑で育ててきた野菜を使っておいしいカレーを作ろうという課題です。収穫した野菜を前にして、「早く作りたい!」と子どもたちは意欲や期待に満ちあふれていました。班ごとに入れる野菜を子どもたちで決めたことも、自分たちで作ろうとする気持ちを高めることにつながりました。

子どもたちの理解や行動を促す手立て

ピーラーでジャガイモの皮むきをしていたA君でしたが、形が複雑なため、うまくむけません。そのときまな板に敷いた布巾にジャガイモを置いて皮をむいて



いる先生は、早く作りたい。授業に付きまわった。君は、早く作りたい。

速その方法を試し、うまくできたことに満足そうでした。先生のさりげない支援が考案する材料となり、A君はより良い方法を自分のものにできたのです。

子ども同士の「対話」を見届ける教師の姿勢

特別支援学校の子どものたちは、表情や身振り、視線、発声、カードの選択、教師の言動を媒介にするなど様々な方法で上手に「対話」しています。

野菜を切る工程が遅れている友達に気付いたB君は、教師に手伝っていいかを確認しました。この時、教師がどう返すかが重要で、「友達に聞いてみようか」「切り方も教えてもらおうか」など、子ども同士の対話につながるためにはどう働き掛ければよいかを常に意識したいものです。

「できた」が次の「やりたい」へ! パーティーでは、各班のカレーを食べ比べました。「ピーマンのカレーは苦いけどおいしい」と言葉から、自分たちのカレーが特別であることを伝えてきました。

「家でも夏野菜のカレーを作ってみようかな」など、次々に作りたいことが見つかった授業となり

別の班のカレーも食べてみたい!

おやこで星を見よう 秋の夜長にプラネタリウム鑑賞はいかがですか? 秋の夜空を彩る星座や星の見つけ方、ロマンチックな物語、星の色や明るさの違い、最近の天文トピックなど、なるほど!納得!のライブ解説で楽しく紹介します。

ひきこもりで悩んだときは... 「アンダンテ」に 青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年及びその家族を支援するための交流の場です。

未来を担う子どもたちに大きな夢を ~平成29年度「子どもゆめ基金」の申請募集が10月から始まります~ 内閣府が実施する「子どもゆめ基金」では、子どもの体験活動・読書活動への助成を行っています。

文化財クローズアップ 「ザ・ロックフェス石丁場遺跡の魅力」を語る開催! 今年3月に、熱海市・伊東市・神奈川県小田原市の石丁場(いしちょうば)遺跡が国史跡「江戸城石垣石丁場跡」に指定されたことを記念し、講演会とシンポジウムを開催します。

お詫びと訂正 Eジャーナルしずおか第173号(平成28年6月20日発行)におきまして、誤りがありました。正しくは以下のとおりです。

貴重書講座 年に一度、当館所蔵の資料に関する研究成果を紹介する貴重書講座を開催しています。今年度は戦前・戦中の閲覧禁止図書

県立中央図書館の貴重書 当館には様々な貴重書があります。その中から2つの特殊コレクションを紹介いたします。

「貴重書」のススメ 書、削除・切取図書がテーマです。現在の県立中央図書館の前身である県立葵文庫時代には、戦時中の約550冊の思想関係の図書を閲覧禁止にしました。

GRANSHIP Wonderfulアート 9/21(水)~10/2(日) 障害の有無を超え、誰もがもつ豊かな感性や表現の素晴らしさを感じる展覧会